



さとのかぜ

NO. 157

千葉県いすみ環境と文化のさとセンター

6月号 2008年6月1日発行

編集・発行 千葉県いすみ環境と文化のさとセンター

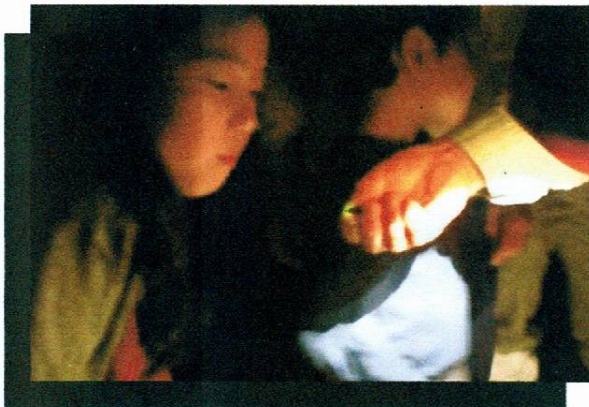
〒298-0111 千葉県いすみ市万木 2050 番地

TEL 0470-86-5251 FAX 0470-86-5252

URL <http://www.isumi-sato.com/>



初夏の風物詩、ゲンジボタル



いすみ市の山田川周辺はゲンジボタルの生息地として有名です。初夏の風物詩“ほたる祭り”は、5月末で終わってしまいましたが、ホタルの最盛期はこれから。ホタルは「火垂」と書かれることが多いのですが、その昔は「夜光」「宵燭」「照夜」などとも書かれていたとか。ちなみにホタルの名がはじめて記録にあらわれるのは、かの『日本書紀』。平安時代には、すでにホタルと呼ばれていたことがわかります。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

5月のセンター行事

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

- 『米づくり・田植えをしよう』 4日
- 『山田の鍾乳石と鉄造仏頭を訪ねよう』 18日
- 『ゲンジボタル観賞の夕べ』 25日

《米づくり・田植えをしよう》

今年の田植えは小雨の中で行われました。参加者は41名。内訳は大人29人、子ども12人でした。冷たい雨と冬に逆



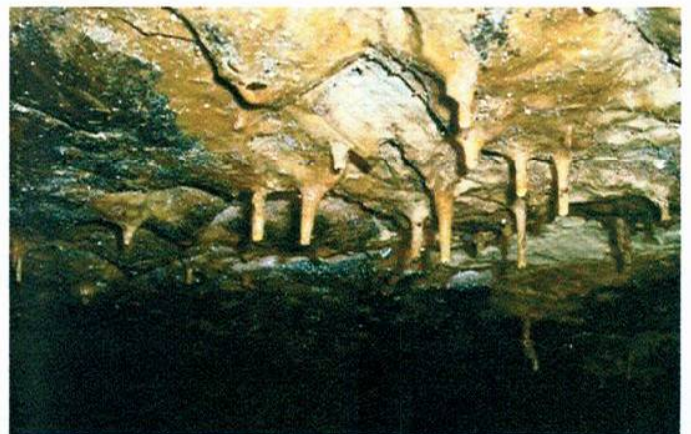
戻りしたような寒さもなんのその、センター職員とボランティア7名の指揮の下、参加者は裸足で田んぼに入り、一列に並んで、ていねいに苗を植えました。ちなみに今年センターの田んぼに植えられた稲苗は、コシヒカリ、京神、月見もちの3種類。秋の収穫が楽しみです。

☎・6月1日現在の田んぼの様子

《山田の鍾乳石と鉄造仏頭》

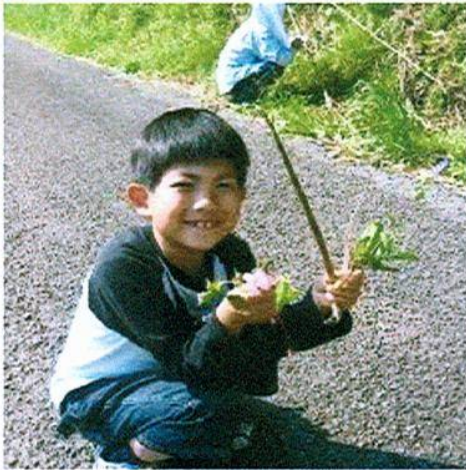
今回の行事も雨にたたられ、11日の予定が18日に順延されました。そのため、定員30名のはずが、参加者は18名に減ってしまいました。

センターを出発した一行がまず向ったのは、いすみ市山田三区の林繁男さん宅。林家の裏山には、およそ110年前に造られた3つの穴堰（農業用の貯水池）があります。あるとき、林さんが「中はどうなっているのか」と水を抜いてみたところ、ひとつの穴堰の天井部分に鍾乳石を見つけたのだとか。溶けた飴のように天井から垂れさがる鍾乳石は長さ5cm、太さ0.5cmほど。見上げると、いまにもぽたぽたと落ちてきそうでした。この穴堰は奥行18m、高さ1.8m、幅2・2m。約100tの水を溜めることができるそうです。鍾乳石が見学できるのは、堰の水を抜く5月いっぱいのみ。6月に入ると穴堰は本来の貯水池の姿にもどり、鍾乳石を見ることはできなくなります。



☎・穴堰の天井で飴色に輝く鍾乳石

鍾乳石を見学後、一行はスポット7の「ホタルの里」へ移動して昼食タイム。その後、



山田四区の「鉄造仏頭」まで、道沿いに咲く野草を観察しながらのんびり散策を楽しみました。ノアザミの雄しべと雌しべが、受粉のときにみせる不思議な動き（下）、一見果実のようにみえる茎の中には、寄生した幼虫が入っているなどなど。指導員の楽しい解説で、不思議な自然の営みを知った参加者は、



しばし子どもに戻って歓声をあげていました。子どもといえば、今回初めてセンター行事に参加した巧規君（上）は、両手いっぱい草花を摘み、「お庭に植える」と大満足。

「鉄造仏頭」に到着すると、管理者の鈴木さんがお堂の扉を開けて待っていてくれました。「ご利益があるそうですから、どうぞ触ってください」という鈴木さんの言葉で、参加者は競って仏頭に触れ、その滑らかな感触に感激しきり。総高約 1.1m、面長 75 cm の仏頭は、鑄鉄仏の秀作で、県の有形文化財に指定されています。付近には金鑄坂（かないさか）とか、金糞原（かなくそばら）といった呼び名が残り、かつてこの地に「たたら」（足踏みの大きなふいご）場があり、鑄鉄製品が作られていたと推測されています。鉄造仏頭を後

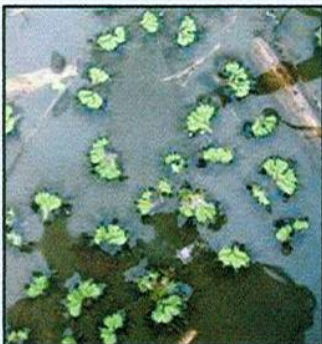


にした一行が最後に向かったのは、野村松徳さん宅。ここでトウキョウサンショウオが生息するビオトープを見学。野村家には、今年、初めてニホンミツバチが飛来し、巣を作ったと聞き、その巣も見せていただきました。

《ゲンジボタル観賞のタベ》

📷 ・ビオトープに興味津々の参加者

参加者は 22 名。お天気にめぐまれ、ゲンジボタルの幻想の舞を堪能できました。（大東 悠子）



イチョウウキゴケ
(ウキゴケ科)

今月の

見い~つけた!

No.2

センター内ハス園の水面に、5月半ばぐらいからぶかぶかと浮かんできました。大きさ1cm程のコケの仲間で、形がイチョウの葉っぱに似ています。農薬などの影響で、全国的には絶滅が心配されています。センターでは、これからハスが見ごろですが、この小さなウキゴケにもぜひ目を向けてみてくださいね！（堺 勇人）

あなたの見つけた生きもの、教えてください!

当センターに来られて、気になる生きものを見つけたら、**ぜひ教えてくださいネ!**

和泉-日在浦だより 渡り鳥の飛来(2008年6月1日)



日在瀉(5/5)_ 旧夷隅川本流跡の干瀉

[旅鳥たち]

いすみ市海岸や夷隅川河口干瀉では、5月の連休を挟んでハマシギ、チュウシャクシギ、ミユビシギなど、それぞれ20-30羽の旅鳥を見られました。それらの多くは、冬を過ごした東南アジア、オーストラリア、ニュージーランド方面から、夏の繁殖に向けてユーラシア大陸、北米大陸への渡りの途中滞在し、休息をとり餌を啄んでいるものです。鳥類研究者からチュウシャクシギ(体長約40cm)60羽を日在瀉で4/29に見たと連絡もあり、これ

だけの群れは今までなかったとのこと。

キョウジョシギ(茶・黒・白3色のまだら大柄模様の鳥)10数羽を浜辺で何回も観察し、沖縄で冬鳥として知られるムナグロ(黄褐色の冬羽)も数羽見ました。他にメタイチドリやキアシシギなどの観察報告があります。

[当地で繁殖の夏鳥]

コアジサシとシロチドリは、毎年5-8月に当地で繁殖が観察されており、今年も連休中飛来が確認されています。コアジサシは夷隅川河口左岸海岸で毎年数百羽規模でコロニーを作り、外敵に集団で威嚇飛翔する姿が見られます。またシロチドリは、日在一和泉浦海岸で毎年営巣が確認されていますが、夷隅川河口左岸ではコアジサシと一緒に営巣しています。また、めずらしく日中にゴイサギ(体長約60cm)を見ることができました。江場土地区の田んぼ近くの樹上にペアで巣作りしていると思われます。営巣地には人が立ち入らない配慮がほしいものです。



チュウシャクシギ(日在瀉5/5)



ゴイサギ(江場土5/20)

[いすみなぎさウォーキング]

5月18日は好天に恵まれ、大原海水浴場と夷隅川河口三軒屋海岸往復「第2回いすみなぎさウォーキング」が開催され、参加者は約1300人でした。事前に市職員やボランティアにより海岸清掃が行なわれましたが、その後の暴風雨でまた海岸に大量の流竹木が堆積しました。夷隅川水系上流域地帯の山林や竹林の問題解決が必要となっています。ウミガメの上陸・産卵の季節を迎え、いつもながら海岸の大掃除が必須です。

いすみ市は5月下旬、今年度ウミガメ保護活動方針についての検討を行なっています。
[森谷 淵(もりや ふかし)]

◎今、いすみでは???

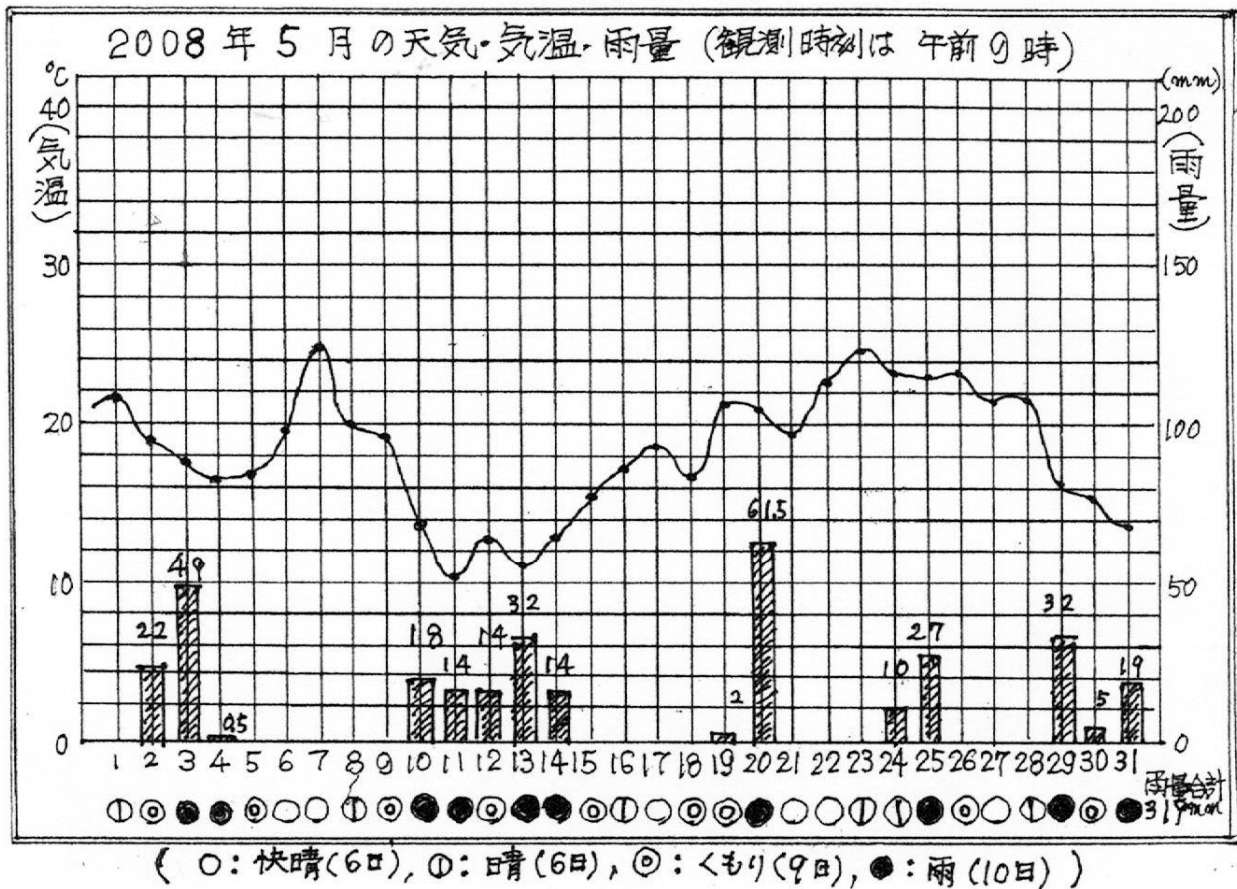
5月の天気をまとめてみました。今年の5月は、雨が多かったような気がしたので、今年の5月の天気の日数(午前9時観測)と雨量を、過去5年間と比べてみました。

まず、一番目立ったのは、『雨量』で、今年が「319mm」なのに、去年は「128mm」、一昨々年は「198mm」で、今年が昨年の「2.5倍」多く降ったことになります。天気は、今年の快晴の日数は「6日」なのに、去年の5月は「11日」で約半分となっていて、それだけ今年の方が、昨年より天気が悪かったといえます。雨の日数と曇りの日数を加えた日数も、今年の「10+9日」は去年の「3+7日」の2倍なので、今年が「昨年と比べ、天気の悪い日が多かった」といえます。6月はどうなるのでしょうか。

今、センター周辺の道路の上の崖(がけ)や土手に、白い花が咲いています。1つはウツギ(ユキノシタ科)、2つ目がアカメガシワ(トウダイグサ科)、3つ目がガマズミ(スイカズラ科)です。土手や草原には、ハルジオン(キク科)がそろそろ終わり、ヒメジオンが咲き始めています。(芝崎 昌彦)

過去5年間の5月の天気の日数と雨量

| 年 | ○ | ① | ◎ | ● | 雨量 |
|-----|----|----|----|----|-----|
| '08 | 6 | 6 | 9 | 10 | 319 |
| '07 | 11 | 10 | 7 | 3 | 181 |
| '06 | 4 | 8 | 8 | 10 | 128 |
| '05 | 4 | 9 | 13 | 5 | 198 |
| '04 | 2 | 11 | 12 | 6 | 159 |



◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇
6月の行事案内
◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

☆『ゲンジボタル観賞の夕べ』② 定員20名
日時 6月1日(日)18:00～20:00
場所 スポット7 ホタルの里(いすみ市山田地区)
集合 ネイチャーセンター 18:00
☆『磯の生き物をさがそう』定員20名
日時 6月8日(日)9:00～14:00
場所 いすみ市岩船海岸(いすみ市岩船地区)
集合 ネイチャーセンター 9:00
持ち物 お弁当、着替え、海の中で履く靴(サンダル不可)

☆『海辺の植物を見にいこう』定員20名
日時 6月21日(土) 9:00～11:30
場所 「太東海浜植物群落」指定地周辺
(いすみ市岬町和泉地区)
集合 ネイチャーセンター9:00
持ち物 飲み物、帽子

<7月の行事予定>

☆『ハスの観賞会』参加自由
日時 7月13日(日)7:00～10:00
場所 ネイチャーセンター 生態園(ハス田)
☆『小川の生き物ウォッチング』定員20名
日時 7月26日(土)8:30～11:30
場所 いすみ市新田川(いすみ市新田地区)
集合 ネイチャーセンター 8:30
持ち物 飲み物、帽子、着替え、海の中で履く靴
(サンダル不可)

いすみ楊枝

—千葉県伝統工芸品—

日時 6月15日(日) 9:30～16:00
場所 ネイチャーセンター
講師 高木 守人氏
参加料 無料
内容 楊枝・花入れ・茶杓作り

センターでは、千葉県伝統的工芸に指定されている「いすみ楊枝」を、県内外に広く紹介するために毎月1回、高木守人氏に実演をさせていただいております。

今回は、7月20日(日)の予定です。

8月の行事予告

『夏の星座を見てみよう』定員20名
2日(土) 19:00～21:00
ネイチャーセンター
『草木染め体験』定員20名
3日(日) 9:30～15:00
ネイチャーセンター
『トンボの沼のトンボたち』定員20名
23日(土) 8:30～11:30

***6月1日(日)より申し込み受付開始**

行事への参加申し込み、お問い合わせは、電話(0470-86-5251)、ファックス(0470-86-5252)、または、直接センター事務室にお申し出下さい。定員のあるものについては、定員になり次第締め切らせていただきます。あらかじめご了承下さい。

* eメール可(メールアドレス: info@isumi-sato.com (@は全角です))

* 行事申し込み後、都合によりキャンセルする場合は必ず早めにセンターまでご連絡下さい。

*「さとのかぜ」の定期購読を希望される方は、郵便代として、80円切手12枚、または960円にて受付ます

◆ ◆ ◆ 利用案内 ◆ ◆ ◆

休館日: 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)、12月29日～翌年1月3日

開館時間: 9:00～16:30、入館料: 無料

なお、団体で案内や解説などを希望される場合は、2週間前までにお申し込み下さい。